

令和 3 事業年度

財 務 諸 表

第 11 期

自 令和 3 年 4 月 1 日
至 令和 4 年 3 月 31 日

学校法人 沖縄科学技術大学院大学学園

独立監査人の監査報告書

令和4年6月20日

学校法人沖縄科学技術大学院大学学園

理 事 会 御 中

EY新日本 有限責任監査法人

沖 縄 事 務 所

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士

田 島 昇

監査意見

当監査法人は、沖縄科学技術大学院大学学園法（以下、「学園法」という。）第12条第2項の規定に基づく監査報告を行うため、平成23年11月1日付け内閣府通知第525号に基づき、学校法人沖縄科学技術大学院大学学園の令和3年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）の財務諸表、すなわち貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書、利益の処分にに関する書類、業務実施コスト計算書、重要な会計方針、その他の注記及び附属明細書について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、沖縄科学技術大学院大学学園の会計の基準（平成23年内閣府令第59号第6条）に準拠して、学校法人沖縄科学技術大学院大学学園の令和4年3月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する事業年度の運営状況、キャッシュ・フローの状況及び業務実施コストの状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、学校法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、監査した財務諸表を含む開示書類に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。

当監査法人は、その他の記載内容が存在しないと判断したため、その他の記載内容に対するいかなる作業も実施していない。

財務諸表に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、沖縄科学技術大学院大学学園の会計の基準（平成23年内閣府令第59号第6条）に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、理事者は、継続法人の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、継続法人に関する事項を記載する必要があると判断した場合には、当該事項を記載する。

監事の責任は、学校法人の財務報告プロセスの整備及び運用における理事の業務執行の状況を監視することにある。

財務諸表の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続法人を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続法人の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続法人の前提に関する注記が付されている場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、学校法人は継続法人として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、沖縄科学技術大学院大学学園の会計の基準（平成23年内閣府令第59号第6条）に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

学校法人と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以　上

目 次

貸 借 対 照 表	・・・	1
損 益 計 算 書	・・・	2
キ ャ ッ シ ュ ・ フ ロ ー 計 算 書	・・・	3
利 益 の 処 分 に 関 す る 書 類	・・・	4
業 務 実 施 コ ス ト 計 算 書	・・・	5
注 記 事 項	・・・	6
附 属 明 細 書	・・・	8
1	固定資産の取得及び処分並びに減価償却費(「第40特定の償却資産の減価に係る会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。)の明細並びに減損損失の明細	
2	たな卸資産の明細	
3	有価証券の明細	
4	無償使用国有財産等の明細	
5	PFIの明細	
6	退職給付引当金の明細	
7	拠出金及び拠出剰余金の明細	
8	積立金の明細	
9	業務費及び一般管理費の明細	
10	運営費補助金等の明細	
11-1	施設整備費補助金の明細	
11-2	補助金等の明細	
12	役員及び教職員の給与の明細	
13	開示すべきセグメント情報	
14	寄附金の明細	
15	受託研究の明細	
16	共同研究の明細	
17	主な資産、負債、費用及び収益の明細	
18	関連公益法人等に関する明細	

貸 借 対 照 表

(令和4年3月31日)

(単位:円)

資産の部			
Ⅰ 固定資産			
1 有形固定資産			
土地		1,659,667,000	
建物	60,891,456,849		
減価償却累計額	<u>-18,274,619,122</u>	42,616,837,727	
構築物	9,498,109,138		
減価償却累計額	<u>-2,743,094,490</u>	6,755,014,648	
機械及び装置	233,016,608		
減価償却累計額	<u>-215,228,452</u>	17,788,156	
工具、器具及び備品	27,922,858,729		
減価償却累計額	<u>-22,875,477,645</u>	5,047,381,084	
図書		8,868,906	
車両運搬具	26,313,443		
減価償却累計額	<u>-26,290,510</u>	22,933	
リース資産	1,308,806,364		
減価償却累計額	<u>-1,308,691,304</u>	115,060	
建設仮勘定		9,876,143,938	
有形固定資産合計		<u>65,981,839,452</u>	
2 無形固定資産			
特許権		132,200,968	
商標権		349,154	
ソフトウェア		64,459,086	
工業所有権仮勘定		84,385,614	
その他無形固定資産		<u>22,580,225</u>	
無形固定資産合計		303,975,047	
3 投資その他の資産			
投資有価証券		5,000	
敷金保証金		1,155,000	
長期前払費用		5,109,773	
リース投資資産		<u>5,056,926,511</u>	
投資その他の資産合計		5,063,196,284	
固定資産合計			71,349,010,783
Ⅱ 流動資産			
現金及び預金		4,257,056,925	
未収入金		3,656,207,126	
たな卸資産		43,892,972	
前渡金		109,018	
前払費用		104,371,386	
リース投資資産		<u>156,970,391</u>	
流動資産合計			<u>8,218,607,818</u>
資産合計			<u>79,567,618,601</u>
負債の部			
Ⅰ 固定負債			
資産見返補助金等		12,310,575,692	
資産見返寄附金		119,934,217	
資産見返物品受贈額		837,211	
退職給付引当金		163,231,200	
長期未払金		5,080,596,402	
その他固定負債		<u>4,137,408,003</u>	
固定負債合計			21,812,582,725
Ⅱ 流動負債			
前受金		111,344,145	
預り補助金等			
預り運営費	855,412,107		
預り施設整備費	<u>8,479,480,572</u>	9,334,892,679	
預り寄附金		72,886,745	
預り科学研究費補助金等		161,364,691	
預り金		118,688,175	
未払金		6,453,348,422	
短期リース債務		115,060	
未払費用		79,427,674	
その他流動負債		<u>108,879,156</u>	
流動負債合計			<u>16,440,946,747</u>
負債合計			<u>38,253,529,472</u>
純資産の部			
Ⅰ 拠出金			
拠出金		<u>24,317,681,264</u>	
拠出金合計			24,317,681,264
Ⅱ 拠出剰余金			
拠出剰余金		33,141,579,611	
損益外減価償却累計額(-)		<u>-18,127,706,337</u>	
拠出剰余金合計			15,013,873,274
Ⅲ 利益剰余金			
任意積立金			
別途積立金		80,532,854	
当期末処分利益		<u>1,902,001,737</u>	
(うち当期総利益)		(715,620,256)	
利益剰余金合計			<u>1,982,534,591</u>
純資産合計			<u>41,314,089,129</u>
負債純資産合計			<u>79,567,618,601</u>

損 益 計 算 書

(自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)

(単位:円)

経常収益			
授業料収益		117,540,000	
運営費補助金等収益		15,307,259,407	
施設費収益		8,792,146	
受託研究等収入(国又は地方公共団体)		708,102,079	
受託研究等収入(国又は地方公共団体以外)		360,499,994	
共同研究収入		12,988,258	
寄附金収益		46,441,865	
補助金等収益		39,385,006	
宿舍料等収入		8,383,833	
土地建物賃借料収入		13,486,565	
資産見返補助金等戻入		2,970,642,903	
資産見返寄附金戻入		52,111,975	
資産見返物品受贈額戻入		3,224	
財務収益			
受取利息	106,680,145	106,680,145	
雑益		259,212,987	
経常収益合計			20,011,530,387
経常費用			
業務費			
人件費	6,734,275,925		
経費			
研究資材費	1,393,641,813		
備品費及び消耗品費	473,180,284		
水道光熱費	958,785,163		
旅費交通費	101,353,038		
通信運搬費	64,243,957		
賃借料	506,551,675		
業務委託費	836,857,110		
修繕費	305,225,299		
保守管理費	1,717,221,561		
図書費	230,759,586		
減価償却費	3,036,487,736		
その他の業務経費	107,698,774	9,732,005,996	16,466,281,921
一般管理費			
人件費	1,514,713,227		
経費			
備品費及び消耗品費	39,018,308		
旅費交通費	60,136,050		
通信運搬費	60,449,001		
賃借料	41,059,001		
業務委託費	309,493,309		
役務費	58,834,410		
広告費	26,068,259		
減価償却費	111,031,493		
租税公課	311,808,530		
その他の管理経費	191,715,867	1,209,614,228	2,724,327,455
財務費用			
支払利息	114,338,832		
為替差損	4,085,421	118,424,253	
経常費用合計			19,309,033,629
経常利益			702,496,758
臨時利益			
資産見返補助金等戻入		106	
資産見返寄附金戻入		4,349,330	
資産見返物品受贈額戻入		1	
固定資産売却益		13,123,500	
臨時利益合計			17,472,937
臨時損失			
固定資産除却損		4,349,439	
臨時損失合計			4,349,439
当期純利益			715,620,256
当期総利益			715,620,256

キャッシュ・フロー計算書

(自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)

(単位:円)

I	業務活動によるキャッシュ・フロー	
	授業料収入	117,495,000
	運営費補助金等収入	18,014,249,602
	受託研究等収入	771,972,310
	寄附金収入	-2,656,508
	補助金等収入	123,873,246
	宿舍料等収入	8,383,833
	その他業務収入	265,623,426
	預り科学研究費補助金等の受払	26,511,908
	人件費支出	-8,241,886,850
	たな卸資産取得による支出	-1,284,183
	その他業務支出	-7,212,006,192
	国庫納付金の支払額	-53,990,408
	業務活動によるキャッシュ・フロー	3,816,285,184
II	投資活動によるキャッシュ・フロー	
	有形固定資産の取得による支出	-4,018,768,749
	有形固定資産の売却による収入	13,073,500
	無形固定資産の取得による支出	-39,279,974
	施設整備補助金等による収入	1,575,894,403
	その他	-63,510,507
	小計	-2,532,591,327
	利息及び配当金の受取額	3,374
	投資活動によるキャッシュ・フロー	-2,532,587,953
III	財務活動によるキャッシュ・フロー	
	ファイナンス・リース債務の返済による支出	-690,360
	財務活動によるキャッシュ・フロー	-690,360
IV	資金に係る換算差額	-4,085,421
V	資金減少額	1,278,921,450
VI	資金期首残高	2,978,135,475
VII	資金期末残高	4,257,056,925

利益の処分に関する書類

(令和4年3月31日)

(単位:円)

I	当期末処分利益	
	当期総利益	715,620,256
	前期繰越利益	1,186,381,481
II	次期繰越利益	<u><u>1,902,001,737</u></u>

業務実施コスト計算書

(自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)

(単位:円)

I 業務費用

(1) 損益計算書上の費用

業務費	16,466,281,921	
一般管理費	2,724,327,455	
財務費用	118,424,253	
臨時損失	<u>4,349,439</u>	19,313,383,068

(2) (控除) 自己収入等

授業料収益	△ 117,540,000	
受託研究収入	△ 1,068,602,073	
共同研究収入	△ 12,988,258	
寄附金収益	△ 46,441,865	
宿舍料等収入	△ 8,383,833	
土地建物賃借料収入	△ 13,486,565	
資産見返寄附金戻入	△ 52,111,975	
財務収益	△ 106,680,145	
雑益	<u>△ 192,930,929</u>	<u>△ 1,619,165,643</u>
業務費用合計		17,694,217,425

II 損益外減価償却相当額 2,254,556,299

III 引当外退職給付増加見積額 2,223,300

IV 機会費用

国又は地方公共団体の無償又は減額された使用料 による貸借取引の機会費用	158,350,453	
政府拠出等の機会費用	<u>98,325,929</u>	<u>256,676,382</u>

V 業務実施コスト 20,207,673,406

注記事項

I. 重要な会計方針

1. たな卸資産の評価基準及び評価方法

総平均法に基づく低価法

2. 固定資産の減価償却方法

(1) 有形固定資産

定額法を採用しております。

なお、耐用年数については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。

また、特定の償却資産(沖縄科学技術大学院大学学園会計基準 第40)の減価償却相当額については、損益外減価償却累計額として、抛出現金から控除して表示しております。

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、法人内利用のソフトウェアについては、法人内における利用可能期間(5年)に基づいております。

3. 引当金の計上基準

(1) 退職給付引当金

役員及び教職員の退職給付に備えるため、当該事業年度における期末要支給額を計上しております。

4. 業務実施コスト計算書における機会費用等の計上方法

(1) 国又は地方公共団体の財産の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用の計算

恩納村分屯基地・農地単価を基に計算しております。

(2) 政府拠出金等に係る機会費用の計算に使用した利率

10年利付国債の令和4年3月末利回りを参考に0.21%で計算しております。

5. 外貨建資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

6. リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引については通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

ただし、ファイナンス・リース取引のうちリース料総額が300万円未満の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

7. 収益及び費用の計上基準

(1) ファイナンス・リース取引(貸主側)に係る収益の計上基準

売上高を計上せずに利息相当額を各期へ配分する方法によっております。

8. 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は、税込方式によっております。

II. 追加情報

1. ビレッジゾーン宿舍の取引概要及び会計処理

当学園は、平成23年9月30日付けで、OKINAWA SCIENTISTS VILLAGE株式会社(以下、事業者)と宿舍整備事業に関する契約を締結致しました。事業者は、当該契約に基づき、当学園の保有する敷地内に教職員及び学生のための宿舍を建設し、完工後当学園に宿舍を譲渡いたします。

宿舍の建設は、フェーズ1(第1期～第3-2期)に渡り、平成27年度においては第3-2期分が完成し、当学園に引き渡しが行われております。

フェーズ2として当学園は、令和元年6月11日付けで、OKINAWA SCIENTISTS VILLAGE II 株式会社(以下、事業者)と宿舍整備事業に関する契約を締結し、令和2年度にヒルサイド及びサウスヒルA・B・Cの宿舍の完成及び引渡が行われております。

当学園は、宿舍の完成に際し、事業者より、長期割賦購入で譲り受けると同時に、事業者と定期建物賃貸借契約を締結し宿舍を賃貸しております。

宿舍の賃貸に係るリース料と宿舍の譲受に係る長期割賦購入額は同額となっており、且つ支払スケジュール及び利息を含む各年度の支払額も同額で設定されているため、各年度の支払額は相殺されお互いの支払は発生しません。そして、定期建物賃貸借契約において、事業者は原則として中途解約が出来ない旨、及びリース期間満後は宿舍を当学園に返還する旨を定めており、当学園は、事業者への賃貸取引について、所有権移転外ファイナンスリース(貸主側)による会計処理を実施しております。尚、所有権移転外ファイナンスリース(貸主側)による会計処理の実施に際しては、売上高を計上せずに利息相当額を各期へ配分する方法によっており、譲り受けた宿舍をリース投資資産に計上しております。

当学園は、フェーズ3として令和元年3月29日付けで、OKINAWA SCIENTISTS VILLAGE III 株式会社(以下、事業者)と宿舍整備事業に関する契約を締結し、令和3年度にThe Gardens宿舍の引渡が行われています。

当学園は、宿舍の完成に伴い、事業者より宿舍を譲り受けると同時に、当該宿舍に運営権を設定し事業者に譲渡しております。建物の取得対価と運営権の譲渡対価は同額であり、支払い額は相殺されお互いの支払いは発生しません。譲り受けた宿舍は建物に計上し、譲渡した運営権の対価はその他固定負債に計上しております。建物およびその他固定負債は、契約期間にわたり、減価償却費の計上、その他雑益への振替を行っております。

Ⅲ.貸借対照表関係

1. 預り補助金等の内訳

(1) 預り運営費

国庫返納額	0 円
学園取得の建設仮勘定見返運営費補助金等残高	771,451,618 円
学園取得の工業所有権仮勘定見返運営費補助金等残高	83,960,489 円
期末残高	855,412,107 円

(2) 預り施設整備費

学園取得の建設仮勘定見返施設費残高	8,479,480,572 円
期末残高	8,479,480,572 円

Ⅳ.キャッシュ・フロー計算書関係

(1) 資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳

現金及び預金	4,257,056,925 円
資金期末残高	4,257,056,925 円

(2) 重要な非資金取引の内容

当期新たに計上したファイナンス・リース(借手側)に係るリース資産の額	0 円
当期新たに計上したファイナンス・リース(借手側)に係るリース債務の額	0 円

Ⅴ.業務実施コスト計算書関係

引当外退職給付増加見積額には、国等からの出向職員に係るものが、2,223,300円含まれております。

Ⅵ.ファイナンス・リース取引に関する注記

1. 借手側

(1) リース資産の内容

業務車両(OISTバス)

(2) リース資産の減価償却の方法

＜所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産＞
自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用しております。
＜所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産＞
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

2. 貸手側

(1) リース投資資産の内訳

①投資その他の資産

リース料債権部分	6,386,210,505 円
受取利息相当額	△ 1,329,283,994 円
リース投資資産	5,056,926,511 円

②流動資産

リース料債権部分	260,452,079 円
受取利息相当額	△ 103,481,688 円
リース投資資産	156,970,391 円

(2) リース投資資産に係るリース料債権部分の決算日後の回収予定額

①投資その他の資産

(単位:円)

	1年以内	1年超 2年以内	2年超 3年以内	3年超 4年以内	4年超 5年以内	5年超
リース料債権部分	-	260,668,682	260,890,329	261,117,145	261,349,249	5,342,185,100

②流動資産

(単位:円)

	1年以内	1年超 2年以内	2年超 3年以内	3年超 4年以内	4年超 5年以内	5年超
リース料債権部分	260,452,079	-	-	-	-	-

Ⅶ.重要な後発事象

該当事項はありません。

附 属 明 細 書

1. 固定資産の取得及び処分並びに減価償却費（「第40特定の償却資産の減価に係る会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。）の明細並びに減損損失の明細

(単位:千円)

資産の種類		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		減損損失累計額			差引	摘要
						当期償却額		当期損益内		当期損益外	当期末残高	
有形固定資産 (償却費損益内)	建物	9,186,020	5,097,581	-	14,283,601	2,820,166	543,335	-	-	-	11,463,434	
	構築物	439,505	39,028	-	478,533	235,237	19,764	-	-	-	243,296	
	機械装置	190,975	-	1,040	189,935	185,161	6,808	-	-	-	4,774	
	工具器具備品	26,967,506	1,639,901	893,453	27,713,955	22,740,718	2,437,847	-	-	-	4,973,236	
	図書	8,088	811	31	8,868	-	-	-	-	-	8,868	
	車両運搬具	27,426	-	1,112	26,313	26,290	198	-	-	-	22	
	リース資産	1,456,333	-	147,527	1,308,806	1,308,691	690	-	-	-	115	
	計	38,275,857	6,777,322	1,043,164	44,010,014	27,316,265	3,008,644	-	-	-	16,693,748	
有形固定資産 (償却費損益外)	建物	46,531,407	76,448	-	46,607,855	15,454,452	1,947,698	-	-	-	31,153,402	
	構築物	7,645,336	1,374,238	-	9,019,575	2,507,857	284,836	-	-	-	6,511,718	
	機械装置	43,080	-	-	43,080	30,066	2,886	-	-	-	13,014	
	工具器具備品	216,015	-	7,111	208,903	134,758	19,079	-	-	-	74,144	
	計	54,435,840	1,450,687	7,111	55,879,415	18,127,135	2,254,501	-	-	-	37,752,279	
非償却資産	土地	1,659,667	-	-	1,659,667	-	-	-	-	-	1,659,667	
	建設仮勘定	6,030,106	6,059,953	2,213,915	9,876,143	-	-	-	-	-	9,876,143	
	計	7,689,773	6,059,953	2,213,915	11,535,810	-	-	-	-	-	11,535,810	
有形固定資産合計	土地	1,659,667	-	-	1,659,667	-	-	-	-	-	1,659,667	
	建物	55,717,427	5,174,029	-	60,891,456	18,274,619	2,491,033	-	-	-	42,616,837	
	構築物	8,084,842	1,413,267	-	9,498,109	2,743,094	304,600	-	-	-	6,755,014	
	機械装置	234,056	-	1,040	233,016	215,228	9,695	-	-	-	17,788	
	工具器具備品	27,183,522	1,639,901	900,564	27,922,858	22,875,477	2,456,927	-	-	-	5,047,381	
	図書	8,088	811	31	8,868	-	-	-	-	-	8,868	
	車両運搬具	27,426	-	1,112	26,313	26,290	198	-	-	-	22	
	リース資産	1,456,333	-	147,527	1,308,806	1,308,691	690	-	-	-	115	
	建設仮勘定	6,030,106	6,059,953	2,213,915	9,876,143	-	-	-	-	-	9,876,143	
計	100,401,470	14,287,962	3,264,191	111,425,240	45,443,401	5,263,146	-	-	-	65,981,839		
無形固定資産 (償却費損益内)	特許権	142,240	58,582	-	200,822	68,621	23,642	-	-	-	132,200	
	商標権	1,217	234	-	1,451	1,102	135	-	-	-	349	
	ソフトウェア	1,138,029	25,314	525	1,162,819	1,098,359	110,330	-	-	-	64,459	
	その他無形固定資産	64,034	47	-	64,081	41,642	4,765	-	-	-	22,439	
	計	1,345,521	84,179	525	1,429,175	1,209,726	138,874	-	-	-	219,448	
無形固定資産 (償却費損益外)	その他無形固定資産	711	-	-	711	570	54	-	-	-	140	
非償却資産	工業所有権仮勘定	107,221	37,224	60,059	84,385	-	-	-	-	-	84,385	
無形固定資産合計	特許権	142,240	58,582	-	200,822	68,621	23,642	-	-	-	132,200	
	商標権	1,217	234	-	1,451	1,102						

注) 1. 建物の当期増加額の主な内容 The Gardens関連 4,369,267千円、 第2エネルギーセンター電源増設工事 494,340千円、 臨海実験施設水温調節設備工事 144,621千円
2. 構築物の当期増加額の主な内容 The Gardens関連 969,639千円、 9号橋 420,640千円
3. 工具器具備品の当期増加額の主な内容 Three Photon Microscope 151,418千円、 Scanning Tunneling Microscope 142,247千円、 Cryogen-free dilution refrigerator system_LD400-KOR 79,068千円
4. 建設仮勘定の当期増加額の主な内容 Lab5関連 4,445,790千円、第2エネルギーセンター 485,650千円、 The Gardens関連 288,157千円、 Metis TOF microscope 262,240千円

2. たな卸資産の明細

(単位:千円)

種類	期首残高	当期増加額		当期減少額		期末残高	摘要
		当期購入・ 製造・振替	その他	払出・振替	その他		
研究資材	47,782	-	-	7,956	-	39,826	
その他	6,497	407	-	2,837	-	4,066	
計	54,278	407	-	10,793	-	43,892	

3. 有価証券の明細

投資その他の資産として計上された有価証券

(単位:千円)

		銘柄等	取得価額	券面総額	時価又は 実質価額	貸借対照表 計上額	損益に 含まれた 評価差額	その他 有価証券 評価差額	摘要
その他有価証券	時価のあるもの	-	-	-	-	-	-	-	
	時価のないもの	沖縄プロテイントモグラフィ 株式会社	-	-	-	5	-	-	新株予約権5,000株無償割当
合計			-	-	-	5	-	-	

4. 無償使用国有財産等の明細

区分	種別	所在地	面積 (㎡)	構造	機会費用の 金額(千円)	摘要
土地	メインキャンパス	沖縄県国頭郡恩納村字谷茶1919番地	631,410.60	-	156,488	
土地	瀬良垣臨海研究施設	沖縄県国頭郡恩納村字瀬良垣瀬良垣原656番地	7,511.50	-	1,861	
合計			638,922.10	-	158,350	

5. PFIの明細

事業名	事業概要	施設所有形態	契約先	契約期間	摘要
沖縄科学技術大学院大学 宿舎整備事業	宿舎整備(建設)・維持 管理及び運営	BTO	OKINAWA SCIENTISTS VILLAGE 株式会社	平成23年9月30日 ～ 令和27年3月31日	第1期:平成24年8月～平成25年1月の間に順次引渡 第2期:平成25年6月引渡 第3-1期:平成26年8月引渡 第3-2期:平成27年8月及び10月引渡
沖縄科学技術大学院大学 宿舎第2期整備運営事業	宿舎整備(建設)・維持 管理及び運営	BTO	OKINAWA SCIENTISTS VILLAGE II 株式会社	令和元年6月11日 ～ 令和42年3月31日	ヒルサイド: 令和2年7月引渡 サウスヒルA: 令和2年7月引渡 サウスヒルB: 令和2年9月引渡 サウスヒルC: 令和2年9月引渡
沖縄科学技術大学院大学 宿舎第3期整備運営事業	宿舎整備(建設)・維持 管理及び運営	BTO	OKINAWA SCIENTISTS VILLAGE III 株式会社	令和元年3月29日 ～ 令和43年3月31日	The Gardens: 令和3年8月引渡

6. 退職給付引当金の明細

(単位:千円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
退職給付債務合計額	156,263	21,092	14,124	163,231	
退職一時金に係る債務	156,263	21,092	14,124	163,231	
未認識過去勤務債務	-	-	-	-	
未認識数理計算上の差異	-	-	-	-	
年金資産	-	-	-	-	
退職給付引当金	156,263	21,092	14,124	163,231	

7. 抛出金及び抛出剰余金の明細

(単位:千円)

区分		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
抛出金	政府抛出金	24,317,681	-	-	24,317,681	
	計	24,317,681	-	-	24,317,681	
抛出剰余金	抛出剰余金					
	施設費	31,698,004	1,450,687	7,111	33,141,579	注1)
	計	31,698,004	1,450,687	7,111	33,141,579	
	損益外減価償却累計額	15,880,261	2,254,556	7,111	18,127,706	
	差引計	15,817,742	△ 803,869	-	15,013,873	

注1) 施設費の当期増加額は、Gardens 997,552千円等によるものであります。

8. 積立金の明細

(単位:千円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
別途積立金	58,867	-	-	58,867	前法人において独立行政法人会計基準上貸借対照表に計上しない扱いとなっていた退職給付引当金について、学園第1期の貸借対照表期首に要積立額を負債として計上し、当該引当額を学園第1期の学園補助金で措置することにより、要積立額分を収益化したことによるもの。
別途積立金	21,665	-	-	21,665	前法人において独立行政法人会計基準上貸借対照表に計上しない扱いとなっていた賞与引当金について、学園第1期の貸借対照表期首に要積立額を負債として計上し、当該引当額を学園第1期の学園補助金で措置することにより、要積立額分を収益化したことによるもの。
計	80,532	-	-	80,532	

9. 業務費及び一般管理費の明細

(単位:千円)

科目	金額	摘要
業務費		
基本給	5,632,120	
諸手当	303,011	
通勤手当	57,743	
超過勤務手当	33,746	
その他給与	41,894	
退職給付費用	7,722	
法定福利費	658,036	
研究資材費	1,393,641	
備品費	235,312	
消耗品費	237,868	
水道光熱費	958,785	
国内旅費	35,124	
外国旅費	32,761	
国内招聘旅費	11,672	
外国招聘旅費	3,102	
国内その他旅費	14,362	
外国その他旅費	4,330	
通信運搬費	64,243	
支払リース料	52,450	
土地建物賃借料	403,362	
その他賃借料	50,738	
福利厚生費	16,997	
行事費	197	
支払手数料	5,906	
諸会費	17,046	
会議費	609	
研修費	7,486	
報酬	66	
諸謝金	22,045	
業務委託費	836,857	
修繕費	305,225	
保守管理費	1,717,221	
損害保険料	7,267	
広告費	6,492	
建物減価償却費	475,576	
構築物減価償却費	19,764	
機械装置減価償却費	6,808	
工具器具備品減価償却費	2,421,515	
車両運搬具減価償却費	198	
無形固定資産減価償却費	111,934	
リース資産減価償却費	690	
図書費	230,759	
租税公課	2,435	
輸入消費税	7,516	
その他の経費	13,631	
計	16,466,281	
一般管理費		
役員報酬	113,466	
役員諸手当	83	
役員通勤手当	47	
基本給	1,113,216	
諸手当	59,072	
通勤手当	20,233	
超過勤務手当	21,182	
その他給与	15,648	
退職給付費用	13,369	
法定福利費	158,391	
研究資材費	15,632	
備品費	2,421	
消耗品費	36,596	
水道光熱費	62,454	
国内旅費	15,826	
外国旅費	1,168	
国内招聘旅費	5,690	
外国招聘旅費	1,508	
国内その他旅費	14,195	
外国その他旅費	21,746	
通信運搬費	60,449	
支払リース料	1,354	
土地建物賃借料	33,652	
その他賃借料	6,052	
福利厚生費	324	
行事費	4	
支払手数料	22,497	
諸会費	7,276	
会議費	1,359	
研修費	6,430	
報酬	44,208	
諸謝金	14,625	
業務委託費	309,493	
修繕費	1,680	
保守管理費	9,826	
損害保険料	33,633	
広告費	26,068	
特許経費	14,722	
建物減価償却費	67,758	
工具器具備品減価償却費	16,332	
無形固定資産減価償却費	26,940	
図書費	3,261	
租税公課	311,808	
輸入消費税	773	
その他の経費	11,837	
計	2,724,327	

10. 運営費補助金等の明細

(単位:千円)

区分	当期交付額	当期振替額				摘要
		建設仮勘定見返補助金等	工業所有権仮勘定見返補助金等	資産見返補助金等	収益計上	
沖縄科学技術大学院大学 学園補助金	18,003,126	467,009	29,412	2,209,696	15,297,006	
合計	18,003,126	467,009	29,412	2,209,696	15,297,006	

注) 損益計算書の運営費補助金等収益には過年度取得仮勘定からその他の経費へ振替えた10,252千円が含まれております。

11－１．施設整備費補助金の明細

(単位:千円)

区分	当期交付額	左の会計処理内訳				摘要
		建設仮勘定 見返施設費	拠出剰余金	預り施設費	その他	
平成31年2月26日付 府沖振第37号 第5研究棟整備	3,248,318	3,105,680	142,638	-	-	
平成31年4月18日付 府沖振第158号 PFI基幹整備	300,070	-	299,707	-	363	
令和3年2月17日付 府沖振第34号 第5研究棟附帯設備整備	492,664	492,664	-	-	-	
令和3年4月1日付府沖振第108号 基幹環境整備	200,622	155,387	37,531	-	7,703	
計	4,241,676	3,753,732	479,877	-	8,066	

11－２．補助金等の明細

(単位:千円)

区分	当期交付額	左の会計処理内訳				摘要
		資産見返 補助金等	長期預り 補助金等	収益計上	その他	
沖縄科学技術大学院大学 企業化促進事業補助金	4,800	-	-	4,800	-	
沖縄科学技術大学院大学 企業化促進事業補助金	18,619	-	-	18,619	-	
沖縄観光コンテンツ開発支援事業補助金	595	-	-	595	-	
国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 医療研究開発推進事業費補助金	15,370	-	-	15,370	-	
計	39,385	-	-	39,385	-	

12. 役員及び教職員の給与の明細

(単位:千円)

区 分	報酬又は給与		退職給付	
	支給額	支給人員(人)	支給額	支給人員(人)
役 員	(7,366)	(2)	(-)	(-)
	106,231	3	-	-
教 職 員	(56,711)	(30)	(-)	(-)
	7,241,158	896	15,693	1
合 計	(64,078)	(32)	(-)	(-)
	7,347,390	899	15,693	1

注) 1. 役員(含む非常勤役員)報酬及び退職手当の支給基準の概要

沖縄科学技術大学院大学学園「基本方針・ルール・手続き」第34章 給与・報酬 及び 第35章 ベネフィット 等に基づき支給しております。

2. 教職員給与及び退職手当の支給基準の概要

沖縄科学技術大学院大学学園「基本方針・ルール・手続き」第34章 給与・報酬 及び 第35章 ベネフィット 等に基づき支給しております。

3. 報酬又は給与における支給人員数は、年間平均支給人員を記載しております。

4. 損益計算書の人件費の中には、上記給与の他に法定福利費816,427千円が含まれております。

5. ()は、非常勤の役職員に対するもので、外教であります。

6. 上記の支給額には、賞与引当金及び退職給付引当金に係る繰入額は含まれておりません。

13. 開示すべきセグメント情報

(単位:千円)

区分	研究ユニット	研究サービス	教育関連	計	全学園	合計
業務収益						
授業料収益	-	-	117,540	117,540	-	117,540
運営費補助金等収益	6,576,958	4,873,678	1,240,528	12,691,165	2,616,093	15,307,259
施設費収益	-	-	-	-	8,792	8,792
受託研究費等収入	348,572	731,993	292	1,080,858	732	1,081,590
寄附金収益	1,597	5,537	68	7,202	39,239	46,441
補助金等収益	39,385	-	-	39,385	-	39,385
資産見返補助金等戻入	1,153,207	1,772,310	1,584	2,927,102	43,540	2,970,642
資産見返寄附金戻入	44,198	7,834	-	52,032	79	52,111
資産見返物品受贈額戻入	-	3	-	3	-	3
その他収入	1,464	43,900	595	45,960	235,122	281,083
財務収益	-	102,722	-	102,722	3,957	106,680
小計	8,165,382	7,537,979	1,360,610	17,063,972	2,947,558	20,011,530
業務費用	8,029,136	6,893,120	1,347,695	16,269,953	3,039,080	19,309,033
業務損益	136,246	644,858	12,914	794,018	△91,522	702,496
資産	3,179,054	71,760,767	16,229	74,956,051	4,611,567	79,567,618

(セグメント情報の注記事項)

(1) セグメントの区分方法及び各業務の内容

各業務の内容

研究ユニット	神経科学、分子科学、数学・計算科学の研究開発の推進、研究者養成活動等
研究サービス	研究ユニットの支援業務、研究成果の普及等
教育関連	学生の受入・教育に係る業務等

(2) 業務費用のうち、全学園の項目に含めた配賦不能費用は、主に管理部門に係る下記費用であります。

人件費	1,514,713	千円
その他経費	728,647	千円
業務委託費	330,195	千円

(3) 資産のうち、全学園の項目に含めた資産は、主に下記の通りであります。

現金及び預金	4,257,056	千円
工業所有権仮勘定	84,385	千円

(4) 損益外減価償却相当額及び引当外退職給付増加見積額のセグメント別金額は下記の通りであります。

(単位:千円)

	研究ユニット	研究サービス	教育関連	計	全学園	合計
損益外減価償却相当額	-	2,254,556	-	2,254,556	-	2,254,556
引当外退職給付増加見積額	-	-	-	-	2,223	2,223

14. 寄附金の明細

区分	当期受入(千円)	件数(件)	摘要
研究ユニット	4,924	33	現物寄附 31件:1,223千円
研究サービス	5,682	8	
教育関連	1,423	48	現物寄附 41件:1,353千円
全学園	36,037	66	現物寄附 2件: 26,758千円
合計	48,067	155	

15. 受託研究の明細

(単位:千円)

区分	期首残高	当期受入額	受託研究等収益	期末残高
研究ユニット	49,624	353,430	335,583	67,471
研究サービス	-	732,093	731,993	100
教育関連	-	5,709	292	5,417
全学園	-	747	732	15
合計	49,624	1,091,980	1,068,602	73,003

16. 共同研究の明細

(単位:千円)

区分	期首残高	当期受入額	受託研究等収益	期末残高
研究ユニット	22,107	25,989	12,988	35,108
合計	22,107	25,989	12,988	35,108

17. 主な資産、負債、費用及び収益の明細

(1) 現金及び預金の明細

(単位:千円)

内 訳	金 額
現金	227
普通預金	4,256,829
現金及び預金計	4,257,056

(2) 科学研究費補助金等の明細

(単位:千円)

種 目	当期受入額	件数	摘要
基盤研究 (A)	(16,400) 4,920	(3) 3	
基盤研究 (B)	(50,943) 15,225	(21) 20	
基盤研究 (C)	(34,530) 10,100	(53) 52	
挑戦的萌芽研究	(2,300) 690	(5) 5	
若手研究	(35,486) 10,645	(30) 30	
特別研究員奨励費	(31,681) 3,930	(34) 9	
特別推進研究	(9,000) 2,700	(1) 1	
国際共同研究加速基金 (帰国発展)	(17,200) 5,160	(1) 1	
国際共同研究加速基金	(1,400) 420	(1) 1	
研究活動スタート支援	(9,000) 2,700	(8) 8	
新学術領域研究(研究領域提案型)	(16,014) 2,301	(6) 5	
学術変革領域研究	(8,160) 2,448	(2) 2	
調査研究費	(1,673) -	(3) -	
HFSP研究グラント	(11,963) 1,196	(1) 1	
厚生労働科学研究費補助金	(1,920) 576	(1) 1	
笹川科学研究助成金	(807) -	(1) -	
武田科学振興財団生命科学研究助成金	(7,692) 2,307	(1) 1	
内藤記念女性研究者研究助成金	(2,000) -	(1) -	
進化学振興木村資生基金	(230) -	(1) -	
大川情報通信基金研究助成金	(769) 230	(1) 1	
大学環境安全協議会プロジェクト	(50) -	(1) -	
上原記念生命科学財団研究助成金	(5,000) -	(1) -	
アストロバイオロジーセンタープロジェクト	(1,600) -	(1) -	
Israel Science Foundation	(1,222) -	(1) -	
Google Easst Asia PhD Fellowship Program	(1,124) -	(1) -	
合計	(268,169) 65,550	(180) 141	

注) 1. 当期受入額は、科学研究費補助金等の間接経費相当額を記載しております。また()は、直接経費相当額で外数にて記載しております。

注) 2. 科学研究費補助金等の研究課題

基盤研究(A)

- サンゴ礁で繁栄する褐虫藻共生システムの体系的理解:学際的研究体制によるアプローチ
- 系統的破壊を通じた巨大有糸分裂装置・スピンドルの分子モデル構築
- 超速1分子超解像法による、シグナル経路統合を担う液状ナノ共通シグナル基盤の解明
- 「心が変われば行動が変わる」確信がもたらす辛抱強さの神経機構
- 2D半導体における励起子の時間分解ARPES
- シロアリにおけるゲノム構造と化学受容体遺伝子族の進化
- 異常細胞のMHC-Iシグナルにより惹起される上皮細胞の免疫細胞様機能
- 海洋環境下のサンゴ褐虫藻共生系のゲノム基盤の解明
- 海洋有機物の凝集・沈降現象のトリガー因子の解明
- 記憶エンングラムによる動的情報表現の意義、一般性およびメカニズム
- 光誘起電荷分離効率化による高効率有機蓄光システムの実現
- 細胞膜損傷を引き金とする細胞老化の分子基盤と生体内における意義の解明
- 実験と計算を融合した核酸酵素の進化学
- 単細胞生物の複雑性:有孔虫サブシングルセル遺伝子発現と超微細構造解析で迫る
- 超対称ランダム行列理論とトポロジー不変量の研究
- 粘性解理論に基づくサブリーマン多様体上の非線形偏微分方程式の研究
- 粘弾性流体に特有な渦の数理解析
- 脳の特徴に基づいたテラーメイド・ブレイン・マシン・インターフェイス

基盤研究(C)

- 分裂期紡錘体の形成・配置制御を司るダイニン複合体/クラスターの機能構造の解明
- 哺乳類心筋細胞のT管膜構造の維持機構の解明と進化的意義の探求
- 3D microfluidics for extensional rheometry
- 3D脳オルガノイドモデルを使用して分子メカニズムを解明することによるα-シヌクレイン関連シナプス機能障害の調査
- Axonal local translation and its implications in the pathogenesis of amyotrophic lateral sclerosis
- Development of fast-forming 3D cultures of human neurons for modeling Alzheimer's disease amyloid and Tau pathology
- Drp1を介した小胞体・ミトコンドリアの接触場の形成機構とアポトーシス誘導の役割
- Imaging ultrafast photocarrier trapping in perovskite photovoltaic materials
- Novel label-free tool for infections diagnosis based on Nano-Electro Optical Tweezers
- The Effect of Active Zone Protein Dynamics on Synaptic Vesicle Release Probability
- The Mechanism of Endoplasmic Reticulum Proteostasis and Proteotoxicity in Retinal Degeneration
- クライオ電子顕微鏡によるアクセサリーピリンを含む歯周病原細菌線毛の全貌解明
- グラフェン支持膜を用いた真空中での電子顕微鏡試料作製法に関する基盤技術の開発
- サンゴ共生渦鞭毛藻の代謝産物利用の技術開発に基づいた共生機構の解明
- セルロースのオンデマンド人工合成に向けた結晶化過程の解明
- トリプレット微小管形成機構の解明
- ペプチド作動性神経系に共通する分子シグネチャーに基づく祖先的神経細胞の再構築
- 横断的クロスリンクプロテオミクスによるシナプスタンパク複合体の進化的起源の解明
- 科学を活用した芭蕉布生産改善
- 回遊バタンの進化の過程を探る:初期生活史と内分泌系からのアプローチ
- 極低温電子顕微鏡を用いたボックスウイルスの多形性キャプシド様足場の構造解析
- 光ナノファイバデータベースを用いたリドベルグ原子の量子ネットワーク
- 高磁場に特化した量子スピンソルバーによるネマティック状態の基礎物性の解明
- 細胞性粘菌多細胞体の再生過程における位置情報再構成機構の解析
- 時間界面を用いたテラヘルツ波の周波数変換
- 時間的不確実な将来報酬に柔軟に適應する神経機構の解明
- 次世代シーケンシングとX線マイクログラフィーに基づいたマダガスカル注目すべきアリの放射線(膜題目:アリ科:テラタナー)の分類学的多様性と進化のダイナミクスの解明
- 自由に行動するマウスにおける3D運動分析と組み合わせた内在性カンナビノイド調節ニューロンネットワーク活動のinvivoイメージング
- 習慣を中核にすえた新たな心の哲学と心の科学の展開
- 植物ゲノムにおける転移因子由来非コードRNAの転写制御
- 水晶体の形態形成における基底膜-細胞間の力学的相互作用の解析
- 精神障害の正確な診断を進めるための患者に合わせたシナプスプロテオミクス技術の開発
- 先端キャップタンパク質に依存する細菌べん毛フック重合機構の解明
- 地球温暖化に適應するための海藻類の新品種開発手法の確立
- 着尺用材料の作出に向けた芭蕉布繊維の解像
- 低温電子顕微鏡を用いた歯周病原体V型ヒルスの全体構造の解明
- 電気生理学および画像研究によって明らかにされたシナプス小胞輸送
- 頭足類手足の規制の起源
- 内観の認識論的地位の解明—現代哲学と神経科学による学融合的アプローチ
- 軟骨肉腫に対する併用療法
- 脳神経系における新規の遺伝子発現制御機構とその破綻による障害・疾患
- 乱流タイラー・クエット流のスペクトル構造
- 理論と実験による薄い懸垂フィルムのしわに対する境界曲率の影響の解明
- 量子回路のモジュール化と量子制御の数学的および実験的研究
- 老化および神経変性中のATP依存性液相分離

挑戦的萌芽研究

- マイクログまでの超低温における角度分解トンネル分光法の開発
- 細胞膜の損傷修復により誘起される細胞老化のWhole body解析
- 深層学習を用いたオルガネラ構造の超高効率の解析法の開発

若手研究

- 哺乳類と異なる戦略で優れた心機能を発揮する鳥類に学ぶ革新的心不全治療の創出
- 2色マイクロプラズマを使用した広帯域高磁場テラヘルツ放射の生成
- A biological image generator: cuttlefish camouflage and visual perception
- Astrocytic NO drives presynaptic cascade for inducing ischemic longterm potentiation at hippocampal CA1 synapses
- Biomonitoring of Red Soil Pollution by DNA-based methods in Okinawa
- CD8T細胞の分化におけるjunBの作用機序の解明
- Detection of quantum states of single electrons on liquid helium
- Hierarchically Ordered Nanocomposites based on Block Copolymers and Nanodiamonds
- Multidimensional risk diversification for conserving coastal wetlands under climate change uncertainty
- PKAイメージングによるマウス体性感覚野皮質深部のカテコールアミン神経修飾の解明
- Purely Elastic Flow-induced Vibrations of Microcylinders : Viscoelastic Fluid-Structure Interaction in Microfluidics
- Self-Organized Multi-Level Working Memories Facilitate Predictive Coding Based Action Panning
- Sustainable and efficient swine wastewater treatment with simultaneous removal of residual nitrates and nutrients recovery.
- T細胞に着目した免疫応答モデルの構築:自己免疫性疾患への展開
- アトラクターネットワークによる言語処理の神経メカニズムのモデル化
- オルガネラになる内生生物へのタンパク質のインポート
- スロー振動の影響を受けた成人神経新生の機能と特性に関する総合的理論調査

	- プロトン流入を利用した細胞膜損傷応答 - リボスイッチを用いた除去可能な新規遺伝子発現制御法による生殖細胞分化誘導 - 光/熱誘起スピנקロスオーバー錯体の軟X線平衡/非平衡ダイナミクス観測手法の開発 - 高水温耐性のあるサンゴ群体がどのように生まれるのか？ - 昆虫の接触による群れ行動アルゴリズムの解明 - 最小細胞から細胞小器官への進化的移行 - 細菌の表面粗さが制御する海洋ナノサイズ粒子付着機構の解明 - 細胞内共生細菌における突然変異率の進化動態とその駆動要因の解明 - 失望を克服する動機の根底にある神経メカニズム - 相互作用する冷原子系における量子速度限界に対する相関の影響の調査 - 弾性乱流のマイクロモグラフィ測定 - 超高速3D超解像イメージング同時1分子追跡による神経シナプス分子集積機構の解明 - 翻訳速度変化を介した新生タンパク質の折り畳み機構の解明とその応用 - 薬剤誘導性統合失調症モデル霊長類コモン・マーモセットの作出と病態解析 - 相互作用する系の量子熱力学 - SCN2A自閉症に関する膜電位イメージングによる細胞体樹状突起シグナリングの解析 - tRNA修飾ランドスケープが新規タンパク質機能の進化に与える影響 - アストロサイトにおけるカルシウムシグナルの伝播を調節する幾何学的要因は何か？ - アリ脚の進化と機能形態に関する研究 - キンカチョウメスの歌弁別行動における発達期聴覚経験の影響 - クシクラゲにおける神経誘導bHLH転写因子の同定と機能解析 - クマミ類との相互作用によって創出されるイソギンチャク共生系の解明 - コウイカの擬態の謎に取り組むための新しいアプローチ - サンゴの非光合成共生生物における光合成系遺伝子の機能的役割 - ショットガンメタゲノミクスによるシロアリ腸内微生物群集の進化動態の解明 - シロアリとその細胞内バクテリアの共生 - ストレス応答反応における脳内Tobの機能解析 - ブルキンエ細胞の樹状突起における連合学習の時空間的符号化 - マウスの尻尾を用いたバランス機能の解明 - メタ群集の空間構造と個体の分散が与える生態的浮動と選択への影響の解析 - ユビキタス海洋動物プランクトン、ワカレオタマボヤの集団ゲノム科学 - 移動性分子による経世代的エピジェネティック伝達の制御機構の解明 - 機械学習による大規模核酸配列データ解析を利用したリボザイム活性の最適化 - 光と物質の相互作用を利用した干渉計と量子相転移 - 降伏応力粘弾性流体の高精度高速プリンティング手法の開発 - 昆虫の内生生物ゲノム進化のドライバールとしての突然変異率の解明 - 混合カチオン-アニオン金属ハロゲン化物ペロブスカイト材料の分解メカニズムの研究 - 在来と外来の沖縄アリ群集における時間変動のパターンとその原因 - 種間比較と構成的手法によるシロアリの構造物形成の進化プロセス解明 - 新規な触媒能を示すリボザイムの進化学 - 身体モジュレーションと神経モジュレーションによる心身機能の改善 - 人工的スピン軌道相互作用した少数系における非古典的性質の解析 - 祖先型ニューレキシンの構造・機能解析 - 組織透明化と三次元イメージングによるコウイカの全脳アトラスの作成 - 天然VS培養:ストレス下におけるサンゴマイクロバイオームの機能的反応の解明 - 透過電子顕微鏡構造解析を鍵とするグラフェンナノリボンの面修飾反応の開発とその応用 - 白化に強いユビエダハマサンゴ群落は頑健か？脆弱か？-生物学と地質学からの検証- - 非天然型アミノ酸生産のためのPLP依存性アミノ基転移酵素の改変 - 分子間相互作用の超高感度測定のための新しいマイクロ流体プラットフォーム - アイドリング状態の脳における情報処理メカニズム - らせん構造を有するナノグラフェンおよびグラフェンナノソレノイドの合成と物性評価 - 先端分光計測と精密合成を活用したグラフェンナノリボンの微細構造と機能の制御 - Cyclotomic KLR algebras in type C: cellularity and blocks - Hamilton-Jacobi equations on metric measure spaces - Hydrodynamic couplings inside a biomimetic array of passive cilia-like structures. - Modulation of turbulence by droplet coalescence - The evolutionary origin of symbiotic mosaics in mealybugs - シェルテリン複合体の構造とメカニズム - 場の量子論とランダムな幾何学 - 対面会話とビデオ通話における行動と脳波の同期観察 - キンカチョウ歌学習における意志による音声情報動態の制御メカニズムの解明 - 人工知能と脳科学の融合研究の国際ネットワーク形成 - 人工知能と脳科学の融合研究の推進 - 先端バイオイメージング支援プラットフォーム - 量子液晶の物性科学 - 膵β細胞の恒常性維持に重要なオートファジーの転写後制御の解析 - 植物の不均一環境変動への応答を支える多層的エピゲノム制御機構 - 不均一環境変動に対する植物のレジリエンスを支える多層的情報統御の分子機構
特別研究員奨励費	
特別推進研究	
国際共同研究加速基金(帰国発展)	
国際共同研究加速基金	
研究活動スタート支援	- 場の量子論とランダムな幾何学 - 対面会話とビデオ通話における行動と脳波の同期観察 - キンカチョウ歌学習における意志による音声情報動態の制御メカニズムの解明 - 人工知能と脳科学の融合研究の国際ネットワーク形成 - 人工知能と脳科学の融合研究の推進 - 先端バイオイメージング支援プラットフォーム - 量子液晶の物性科学 - 膵β細胞の恒常性維持に重要なオートファジーの転写後制御の解析 - 植物の不均一環境変動への応答を支える多層的エピゲノム制御機構 - 不均一環境変動に対する植物のレジリエンスを支える多層的情報統御の分子機構 - 細胞構造における機械的相互作用の役割 - 前障の脳内状態の調整器としての役割 - 外国人特別研究員調査研究費 - 線条体における行動の柔軟性の時空間神経化学ダイナミクス - 新たなバイオテクノロジーを用いて得られた食品の安全性確保とリスクコミュニケーションのための研究 - 海洋炭素循環を制御する粒子凝集ポテンシャルの定量法開発 - 急速タンパク質分解法による、初期胚分裂の正確性を生み出す仕組みの統合的理解 - モバイルシグナルを介した植物の生殖メカニズム - 生態・進化英語セミナー - 分子機械による情報処理の解析 - 学術研究に使用される麻薬・向精神薬・覚醒剤等の管理 - 初期胚分裂の必須遺伝子を見出す標的蛋白分解系の樹立 - 多相不均一反応が鍵となるタンパク一次構造の起源 - Plasma micro-cavities - Google Easst Asia PhD Fellowship Program
新学術領域研究(研究領域提案型)	
学術変革領域研究	
調査研究費	
HFSP研究グラント	
厚生労働科学研究費補助金	
笹川科学研究助成金	
武田科学振興財団生命科学研究助成	
内藤記念女性研究者研究助成金	
進化学振興木村資生基金	
大川情報通信基金研究助成金	
大学環境安全協議会プロジェクト	
上原記念生命科学財団研究助成金	
アストロバイオロジーセンタープロジェクト	
Israel Science Foundation	
Google Easst Asia PhD Fellowship Program	

18. 関連公益法人等に関する明細

FRIENDS OF OIST FOUNDATION, INC.

(1) 設立の目的

- ① 沖縄科学技術大学院大学及び米国、日本及び海外の共同研究者が実施する研究及び教育の活動支援を通じて、世界の課題に取り組む科学技術を促進する。
- ② 米国での沖縄科学技術大学院大学及びその研究プログラムの認知度を高め、国際的に影響を与えることにより、日本発の科学技術による研究と教育のグローバル化を推進する。
- ③ イノベーション、起業家精神、世界のニーズに対応する科学技術の知識の活用を支援する環境を促進することで、沖縄の自立的な経済成長に寄与する。

(2) 法人に対する役員の関係

当学園の元理事の一人であるジェローム・フリードマン氏は、Friends of OIST財団法人の理事を務めております。

(3) 役員氏名

- ① ジェローム・フリードマン 理事
- ② マクリン・幸子 理事

(4) 基本財産の状況

法人の基本財産に対する出えん、拠出、寄附等及び法人の運営費、事業費等に充てるために沖縄科学技術大学院大学において負担した会費、負担金等はありません。

(5) 法人に対する取引の状況

該当はありません。

